



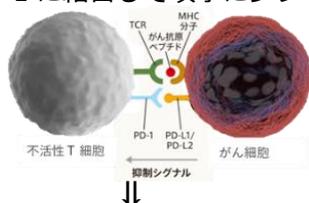
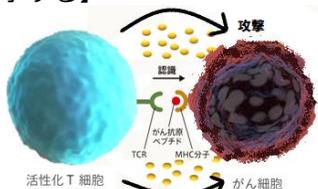
利用者さま、ご家族さまへ情報をお届けします

ノーベル医学・生理学賞受賞 がん免疫療法とは？



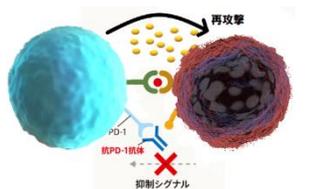
先月 1 日、京都大学 ^{ほんじよたすく} 本庶 祐 特別教授のノーベル医学・生理学賞受賞が決まりました。日本出身のノーベル賞受賞者は、米英国籍者を含め二十七人目。授賞理由は「免疫の働きの低下を防ぐがん治療法の発見」。研究を基にして作られた免疫薬「ニボルマブ」（商品名：オプジーボ）は、従来の抗がん剤との比較実験で圧勝しました。本庶氏曰く従来の 3 大免疫療法とは、①がんワクチンは弱めた抗原を注射する。しかし患者の体にはすでに体中にがんの抗原があるので効果は期待できない。②養子免疫療法（患者からリンパ球を取り出し ^{ようしめんえきりようほつ} 試験管内で増やした後体に戻す）これは何年もアメリカで試験され効果なく中止されている。③インターフェロン（異物の侵入を脳に知らせ免疫を作用させる連絡物質）は副作用が強すぎて治療にならないそうです。これらの治療はすべて **免疫のアクセルを吹かす** 方法。今回は全くのパラダイムシフト（発想転換）で **免疫のブレーキを解除** する方法です。

- ①【がん細胞を免疫細胞が認識して 攻撃する】 ②【がん細胞 PD-L1、L2 分子が免疫細胞の PD-1 に結合して攻撃にブレーキ】



現在適応になっているのは悪性黒色腫（皮膚がん）、非小細胞肺癌（肺がん）、胃癌など 7 種の癌に限定されております。今後さらに多くのがんの効果があるお薬を開発されることを切に願います。（理学療法士・熊澤）

- ③【オプジーボで抑制シグナルを断ち免疫細胞が攻撃を再開する】



中部メディカル新聞は皆さまの情報をお待ちしております



11 月 22 日は「いい夫婦の日」

今回は **結婚記念日クイズ** です！こんなにあるなんて知らなかった…呼び名ですが、贈るものの名前が付けられているそうです♪

の記念日の名前は何かでしょうか？

1 年目	紙婚式 <small>かみこんしき</small>	20 年目	磁器婚式 <small>じきこんしき</small>
2 年目	藁婚式 (綿) <small>わらこんしき わた</small>	25 年目	銀婚式 <small>ぎんこんしき</small>
3 年目	革婚式 <small>かわこんしき</small>	30 年目	真珠婚式 <small>パールこんしき</small>
4 年目	花婚式 <small>はなこんしき</small>	35 年目	<input type="text"/>
5 年目	<input type="text"/>	40 年目	ルビー婚式
10 年目	<input type="text"/>	45 年目	サファイヤ婚式
15 年目	水晶婚式 <small>すいしょうこんしき</small>	50 年目	<input type="text"/>

(山田・看護師)



中部メディカル 訪問看護ステーションの理念

- **こころを大切に** (ご本人とご家族のこころを大切にします)
- **連携を大切に** (地域のケアチームと親密で良好な関係を築いていきます)
- **スピードを大切に** (出来る限り早く対応して信頼されるステーションを目指します)



訪問看護、訪問リハビリについてのご質問ご相談のお電話、メールをお待ちしております。ホームページからもお問い合わせできます

中部メディカル 訪問看護ステーション



〒463-0048 名古屋守山区小幡南三丁目 17-31 B-3
 TEL 052-792-9802 FAX 052-792-9803
 携帯 080-5298-9513
 E-mail chubucare@arion.ocn.ne.jp
 HP <http://www.chubu-med.com>
 事業所番号 NO.2361390186





中部メディカルのスタッフ便り



10月12日に中部国際空港セントレアにオープンした、『フライト・オブ・ドリームズ』に行ってきました♪ **ボーイング787ドリームライナー初号機**（世界で最初に製造された、民間航空機の歴史に残る1機）の展示をメインに「航空」をテーマにした施設です。初号機は**2009年12月15日**、初飛行に成功。その後は2011年までさまざまな飛行試験に使用され、試験終了後はカリフォルニアの砂漠に留置されていました。787ドリームライナーの機体の**35%**は中部地域に拠点を置く日本企業によって開発・製造されてる縁もあり、寄贈されることとなり、セントレアに向け**2015年6月22日**最終フライトを終えました。

ボーイングを間近に見るのはもちろん、下から見上げ細部まで見ることもでき、飛行機好きにはワクワク間違いなし！私のように飛行機に疎くても、**ボーイング創業の地シアトル**の街並みをイメージした施設内に、主翼が屋根のようにせり出している場所もあり、飛行機を眺めながらシアトル発祥の食べ物を満喫する事を目的としても良いかと思えます♪

(三宅・看護師)



スタッフのほっと一息



食欲の秋がやってきましたね。私がこの季節になると必ず食べたくなるのが**モンブラン**です。モンブランと言えばおすすめなのが、長久手と覚王山にある『**ピエールプレシュウズ**』さんです。このお店のモンブランは、中は北海道産の**生クリーム**、周りは濃厚な**マロンクリーム**できています。私が初めてこのお店のモンブランを食べたときは、とても感動しました！ぜひ皆さんにも試していただきたいモンブランです。

(山中・看護師)



「インフルエンザ予防接種」



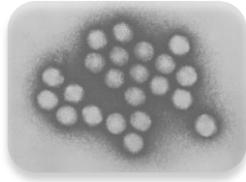
インフルエンザに感染すると熱が**38度以上**になり、**頭痛**や**関節痛**など**全身倦怠感**等の症状がでます。特に小児や高齢者は症状が重症化しやすく、死亡する事もあります。インフルエンザを予防するには、**予防接種**が効果的だと言われています。

本当に予防接種は効果があるのでしょうか？実は、インフルエンザの予防接種をしてもすぐには、予防の効果はありません。インフルエンザワクチンを接種してから、**1~2週間**かけて抗体が作られます。つまり、インフルエンザが流行してから慌てて、予防接種をしても抗体が間に合わないことがあります。せっかく予防接種を受けても、抗体が出来る前に、感染すると発症します。

インフルエンザの流行は毎年**12月頃**に始まり、**1~3月**にピークを迎えます。予防効果がある抗体ができるまでの**2週間**を逆算すると、遅くとも**12月頃**までに接種を終わらせたいところです。予防接種の効果は一般的に**5ヶ月**といわれています。

インフルエンザが猛威を振るう前に、しっかりと予防をしましょう。そして予防接種の効果だけに頼らず、日頃の手洗いうがいはもちろんのこと、**室温**や**湿度**に気を遣い、栄養バランスの良い**食事**と十分な**睡眠**をとるなどして、私たちが本来持つ免疫力も最大限にアップして冬を乗り切りたいところです。

(伊藤・看護師)



スタッフのほっと一息



食欲の秋がやってきましたね。私がこの季節になると必ず食べたくなるのが**モンブラン**です。モンブランと言えばおすすめなのが、長久手と覚王山にある『**ピエールプレシュウズ**』さんです。このお店のモンブランは、中は北海道産の**生クリーム**、周りは濃厚な**マロンクリーム**できています。私が初めてこのお店のモンブランを食べたときは、とても感動しました！ぜひ皆さんにも試していただきたいモンブランです。

(山中・看護師)



私の18のビリーフ「付記」



ヴァージニア・A・ヘンダーソンの名言①

彼女は1897年生まれのアメリカ人看護師であり、「**基本的看護ケアの14の構成要素**」が有名で、看護教育の指導者として大学で教壇に立ち、後世に大きな影響を与えた方です。

『**看護師は自分の患者が何を欲しているかのみならず、生命を維持し、健康を取り戻す為に「皮膚の内側」に入りこまなくてはいけない**』と名言を残しています。私たちは本当の意味で利用者様の立場に立って、真摯な態度で仕事に取り組んで行きたい思います。

(熊澤真・専務)

